

※記載例を参考の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社 有賀電気工事）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用・教育・昇進・登用など性別年齢に問わず差別しない体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			社内相互のコミュニケーション作りに努め、ハラスメント行為を防ぐと共に、相談→報告体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			36協定の遵守を徹底し、時間管理、勤務体制の整備、対応を行なっている								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在、外国人労働者は在籍しておりません					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			作業前にKY(危険予知)を実施する他、関係企業、組織の安全大会に参加し、社員の事故防止意識を高めている。 定期的に工事現場の安全バトロールを実施し、現場の安全確認及び安全啓発に努めています					3			8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			毎週水曜日の社員全員参加の朝礼にて、状況把握に努めている				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定し、多様な人材が活躍できる環境を整備しています 定年以後、再雇用制度を実施し、年齢に限定される事なく、活躍できる場を提供しています				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3										
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			仕事に必要とされる資格、講習は、会社負担にて取得させ、各社員があらゆる作業に対応できるよう、教育訓練の場を与えています				4	5.5		8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			全社員が正社員として雇用しており、評価に基づいた等級別の同一賃金を支給しています				5.5			8.5	10.2 10.3										
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」に取り組んでいます 年に一度社員全員、定期健康診断を実施しています 健康診断後の保健指導員による特定保健指導を必須とし、健康管理の改善の意識向上とさせています 受動喫煙防止対策として、喫煙所を1か所設置し、それ以外の会社内、構内は一切禁煙とされています				3			8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			会社や現場での廃棄物を社員全員が共通意識で適切に分別し、廃棄物業者に委託し、適切に処理しています													11.6	12	14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			水道、電気、ガソリン使用料を月別把握しています								7.3						13				
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			社屋屋根及び車庫屋根に太陽光発電設備(再生可能エネルギー)を導入し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます							7.2 7.3						12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質は委託業者に依頼し、適切な処理を行なっています				3.9		6.3							11.6	12.4				

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			廃棄物を適正に処理し、委託業者を通じて再資源化を行なっています						6.6							15
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			会社、現場の文具用品及び消耗品はできる限り、リユース可能商品を購入するようにしています										13	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			散水・融雪時の水は井戸水を使用しています 水資源の節約利用方法は周知徹底しています				6.4	6.6								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		取得していません			3.9		6	7			12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			環境に関連した新しい情報が入ってきたら、朝礼で社員全員で共有し、資料は掲示板に掲示し周知しています									12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			社屋屋根及び車庫屋根に太陽光発電設備(再生可能エネルギー)を導入しています					7.2				13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			天然資源の持続的利用に配慮する為、電気自動車を導入し、今後も導入を検討しています									12.2	13	14	15	
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンスを遵守し適切な業務を行なうように、社員全員に周知徹底しています												16	
公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンスを遵守し適切な業務を行なうように、社員全員に周知徹底しています												16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			第三者の知的財産(商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報)を尊重するとともに、私たちの知的財産についても保護するよう社内に周知徹底しています。				8.2	8.3	9							
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			仕事上で取り扱う個人情報のデータ及び機密文書は定期的に委託溶解処理し、証明書の発行を受けています												16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		鉱物を取り扱う業務は行なっていません													16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			協力業者には、当社の方針を理解してもらい、適切な契約を結んだうえで、作業に従事してもらっています			5		8	10	12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している(2024年4月26日登録)		3			8	9	10						

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			使用材料は、正規品を使用するとともに、定期的に耐圧試験や校正試験に合格した計測機器や工具にて施工し、安全性を確保しています 作業にあたっては、作業内容に適した免許や資格のある社員に作業させ、安全を第一に考えた作業に努めています														12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			製品・サービスの安全性に基づいた施工に徹し、完了時は社内検査を行ない、顧客要求事項との差異の有無をチェックし、顧客様へ引き渡ししています													9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光発電、LED商品、高機能エアコンなど環境に配慮した製品のサービス提供に努めています														12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			環境問題を考え、太陽光発電、照明器具のLED化、省エネエアコンなど環境に配慮した製品のサービス提案・提供に積極的に取り組んでいます	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域の保育園、小中学校の修理依頼には子供達の教育の妨げにならない様に特に敏速な対応をしています 高齢者や独居老人からも気軽に依頼をもらえる電話対応を心掛けています												4		9	11	12	14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			年2回の一斉清掃に社員全員で参加し、地域環境の美化活動への協力をしています 又、地域祭事への寄付を長期に渡り行なっています 市内、独居老人住宅の電気設備の点検訪問活動に参加しています												4		11		14	15	17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			協力業者は、基本的に地元業者の中より選定する事に努めています													8	9	11	12	13			
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			「よろこばれることに よろこびを…」に込められた、経営理念と目標を社員全員が共有できています													8	9					17	
組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			役員をはじめ全ての社員が法令遵守の重要性を認識し、周知徹底されています																			16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			安全管理部に責任者を任命しています																				16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			協力会社・間屋・金融機関等の関係者様とは、常日頃より情報共有、相互理解を深める為に、コミュニケーションを図っています 顧客様に対しては、年末に挨拶回りと称し、当社のカレンダーを配りながら、当社への意見要望を伺っています																		16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			経営面のリスクマネジメントは税理士事務所と共有し、現場リスクは担当保険会社と情報共有しています																			16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ			朝礼、品質会議等の会議で社員に周知共有し、社員全員が責任を持った対応に取り組んでいます																			16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BOP(事業継続計画)が未整備の為、今後整備を行なう予定でいます														9	11	13	13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がおります														8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※ 1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※ 2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定